

特集1 つながり響き合う教育

市では、「小中一貫教育」を縦のつながり、「地域とともにある学校づくり」を横のつながりにして、「つながり響き合う教育」を進めています。

☎ 学校教育課・社会教育課 ☎ (25) 8562

地域とともにある学校づくり

すべての小中学校に学校運営協議会を設置し、学校と地域が育てたい子ども像を共有し、その目標を達成するための具体的な取り組みや、その取り組みを実践するための支援等について協議（熟議）を重ねて教育活動を進めています。また、学校運営協議会で話し合われた学校支援については、学習支援や行事支援、環境整備、登下校の見守りなど、地域学校協働活動として一体的に進めています。

小中一貫教育

すべての小中学校において、高島市独自の標準カリキュラムを活用して、小中一貫した学習指導・生徒指導を実施しています。子どもの15歳の姿を小中学校の教職員が共有し、一体となって子どもたちを導き支えることができるところが小中一貫教育のよさです。学校単体での限界を超え、各中学校区では特色ある取り組みを実践しています。

小中一貫した道徳教育 (マキノ中学校区)

マキノ中学校区では、道徳教育を柱に園小中学校のカリキュラムを作成し、豊かな人間関係を育てる取り組みを進めています。

中学校区で共通した実践として、各校で作成した道徳性を育む資料をローテーションして掲示したり、児童生徒が互いのよさや地域のよさを見つかけたりすることで、自尊感情の向上や郷土を愛する心の育成につながっています。

また、道徳の授業では、生き生きと自分の思いを話したり、新たな気づきに目を輝かせたりする姿が増え、子どもたちの思考の深まりを中学校区全体で感じることができました。



グループでの話し合い活動

校種を超えた授業実践 (湖西中学校区)

湖西中学校区では、園小中学校・高等学校の系統的な学びに視点を当て、子ども自らが学ぶ意義を自覚し、主体的に学習に取り組む力

学校・地域連携 カリキュラムの作成

令和4年度は、学校運営協議会での熟議を通して、これからの子どもたちが身に付けるべき資質・能力を明らかにした上で、学校と地域が連携・協働した教育活動を体系的に示すカリキュラムを作成しています。

作成したカリキュラムを地域の皆さんにもお知らせすることで、学校に関わっていただける人を増やしていきたいと考えています。

合同学校運営協議会 (安曇川中学校区)

安曇川中学校区4校の学校運営協議会が集まり、合同会議を開催しました。安曇川中学校区の小学生の現状や、育てたい資質・能力、目指す子ども像などについて、グループで意見交換を行いました。

普段はあまり交流することがない違う学校の委員とも意見交換ができ、各学校で行われてい



学校運営協議会での熟議

を育んでいます。

本年度は、高島高等学校・安曇川高等学校の協力を得て、子どもの成長と学びの連続性を重視した授業実践をさらに進めることができました。

難しいのかな?と不安だったけど、しっかり話を聞くことができました。(小学生)



中学校の先生から学ぶ

高校の授業の雰囲気分かり、参考になりました。(中学生)



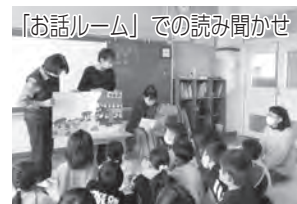
高等学校の先生から学ぶ

小学生は中学校の先生から、中学生は高等学校の先生から学ぶことで、中学校や高等学校への不安を解消したり、自分の将来の進路を考えたりするきっかけになりました。

低学年向け図書室の開設 (高島学園)

地域の学校協働活動のようすについても共有することができました。

子どもの読書離れについて学校運営協議会で熟議を行い、小学校低学年から読書に親しむ機会を増やす必要



「お話ルーム」での読み聞かせ

性から、低学年向け図書室「お話ルーム」を開設しました。

地域のボランティアによる読み聞かせや、中学生による「お話ルーム」の装飾などの工夫は、低学年児童の読書意欲の向上につながっています。

地域学校協働活動 (今津中学校区)

地域の方々による運動場の除草作業や花壇づくりは、子どもたちの学び環境を整え、豊かな学校生活につながっています。また、2年生の「九九の暗唱」を地域の方々に聞いていただき、

小中異学年交流 (朽木中学校区)

朽木中学校区の特徴は、小中学校の異学年交流「ビルドアップタイム」です。

これは、中学生が作成した学習課題を小学生が自分のペースで、中学生に教わりながら解いていく時間です。

小学生にとっては、中学生へのあこがれや学習意欲の向上につながっています。

また、中学生は、小学生に分かりやすいように説明を工夫し、活動しています。この取り組みは、中学生の自己肯定感を高め、責任感を育んでいます。

ビルドアップタイムで小学生に合わせて問題を作るのは、自分の勉強にもなりました。(中学生)



ビルドアップタイム

私も中学生になったらやさしく教えてほしい。(小学生)

繰り返し挑戦しています。合格した時の喜びが、子どもたちの自信につながっています。



九九の暗唱

学校を核とした 地域づくりへ

取り組みを始めて、約5年になります。毎朝の見守りで「行ってらっしゃい」と言つと「行ってきます」という大きな声が弾む子どもたち。毎日会釈してくれる保護者。「学校が身近になった」「まちで出会ったら、にこっと笑ってくれるし、嬉しい！」など、地域の方々の声も届くようになりました。やりがいを感じて、楽しく活動してくださる方が増えて嬉しい限りです。

【地域学校協働活動推進員】

教育委員会では、今後とも、学校・家庭・地域をつないで、つながり響き合う教育を本市の教育の重点と位置づけて、推進していきます。